村指定文化財一覧

○田中鶏舞

明治初期、戸来村「金ケ沢鶏舞」の指導を受けて導入したと伝えられる。目的は鶏舞を通じての部落民の融和及び青少年の非行防止であった。

○田中獅子舞

多開院神楽であると言われるが、起源は不詳。千百年祭を迎えた三嶽神社建立の貞観時代にすでに神事として奉納された舞楽である。

（令和元年８月撮影）

○金ケ沢鶏舞【村指定解除】

昭和 51 年、県指定文化財となったため村の指定を解除した。

○西越獅子舞

ある高貴な方が都から楽人となって、同村戸来を訪れ、その３人娘が大蛇にさらわれたという。その一番上の娘は戸来三嶽神社に、二番目の娘は西越三嶽神社に、三番目の娘は三戸町猿辺神社にそれぞれ祀ったという。そこで西越三嶽神社に西越獅子舞を奉納するために生まれたと考えられる。

○中里神楽

千百年歴史を持つ三嶽神社に仕える社が建立された時からあったものと伝えられる。現在の神楽は慶応元年２月 13 日、大阪堺市より大太鼓とともに購入したもので、その際、南部町玉掛から師匠を招いて、元来の神楽舞の記憶を辿りながら確立されたものである。

○中崎神楽

獅子頭は２頭あり、面長の古い獅子頭は同部落にて手掘りで作成したものと言われている。一方の新しい獅子頭は、大正時代、京都から購入したという。創始は不明ではあるが、現在の笛吹きは六代目（指定当時？）であると言われている。

○間明田駒踊り

古来、南部地方は名馬の産地であり、馬産の盛んな土地は栄え、衰えた時は廃れ、馬とともに生きていたと言っても過言ではなかった。由来は今もって明らかではないが、７頭の白馬で舞うところから「長慶天皇のお伴で…」とか「坂上田村麻呂の先導で…」などの謂われもある。

○大谷地神楽

明治 30 年頃、同部落にバクチが流行していた。それをやめさせようと戸来村中里部落の村田福松氏を中心とした人達から若者達に伝承されたのがはじまりである。

○天王杉【村指定解除】

昭和 52 年、強風により倒壊したため村指定を解除した。

○栃窪逆栃

坂上田村麻呂将軍が東北征伐の際、飲み水にするために、見つけた清水の目印に、杖にしていた栃の木の枝を逆さに突き刺したものが生長したという伝説の木である。

（平成 26 年 7 月撮影）

〇大石上方位石

エジプトのピラミッドよりも古い数万年前のピラミッドが、日本には７基あるとされており、昭和 10 年に画家の鳥谷幡山によって発見された十和利山のピラミッドが４基目だとされている。山という自然の地形を利用して、頂上に巨石を配置したピラミッドで、太陽礼拝所として古代から使われていたと考えられている。

頂上の巨岩西側の稜が正しく南北を指し、岩の割れ目が正しく東西を指している。古くは雨乞いの儀礼が行われ「大石神」と言われることもあるという。

（令和３年８月撮影）

○金沢山長泉寺旧跡

元祖は朝仙庵と呼び獅子咬山の中腹にあったが、明応５年に現在地に移転した。開基は戸来又左衛門で、開山は法光寺２世安葩昌舜であるという。本釈迦牟尼は、天平期の春日仏師の作と明応７年の資料に示されている。

旧跡地ではかつて礎石と推定される岩が散在する。明らかに人の手が加わり、直線状に加工されている。

（令和４年６月撮影）

○赤坂森環状列石

配石遺構（ストーンサークル）である。付近一帯から縄文後期甕型土器や縄文晩期の土器が多量に出土している。

（令和４年７月撮影）

○三嶽神社御神木欅

樹齢 1,200 年と推定され、青森県内でもっとも古いと推定される。

（平成 29 年９月撮影）

（令和２年９月撮影）

○水芭蕉群生地

村の花である。村内のいたるところに群生し、淡い緑の大きな葉は平和を表し、純白の花弁「仏焔苞（ぶつえんほう）」は清明を、泉のほとりに群生するその姿は融和を象徴している。

（令和３年４月撮影）

○金ケ沢獅子舞

源義家が東北征伐の際、必勝を祈願して、三嶽神社に奉納したとの説と、長泉寺が獅子咬山から現在の金沢山に建立された時から始まったとの説があるが、いずれも定かでない。ただ言えることは、獅子頭を権現様と呼ぶところから見ると、徳川家康死後と考えられる（徳川家康公のことを権現と言っていた時代がある）。少なくとも 500 年以上 1,000 年位の歴史があるやに思われる。

○一位（オンコ）【村指定解除】

戸来館に 800 石戸来又左衛門国秀がいた頃、植樹したものではないかと言われている。樹齢 300 年以上と推定される。

令和３年、枯れ込みが進み、樹勢の衰えが著しく、強風や大雪などにより道路に張り出した枯れ枝の折れ、倒木等による交通及び人的な被害の恐れなどの影響が懸念されるため、村指定を解除した。現在は伐採されている。

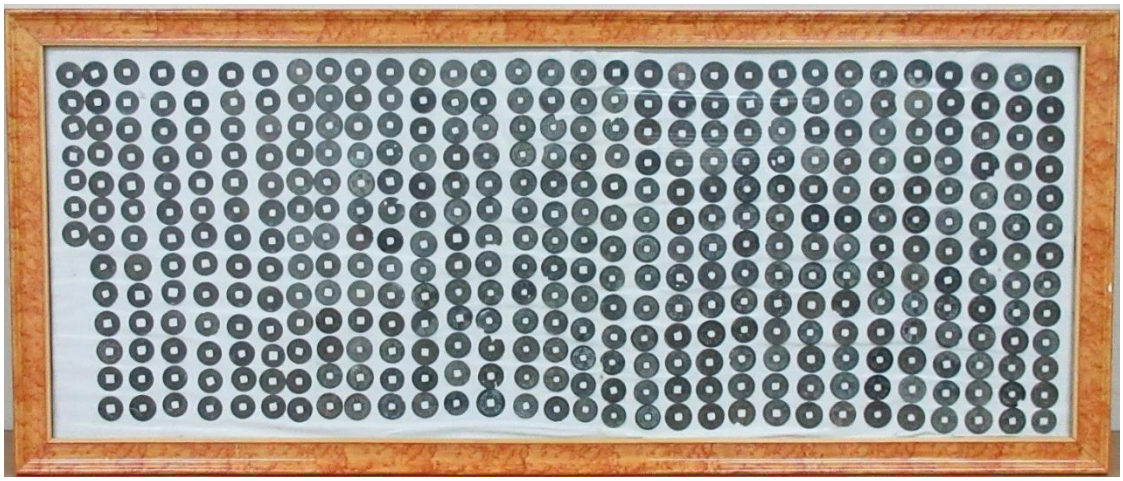
（平成 29 年 9 月撮影）

○梨の木【村指定解除】

一位（オンコ）と同じ屋敷内に植えられてあり、樹齢 300 年以上と思われる。平成 30 年に一位（オンコ）と同様の理由により、村指定を解除した。現在は伐採されている。

○中国古銭

女ケ﨑部落の宅地内から中国古銭（400 枚 30 種）が発見された。わが国最初につくられたお金「和銅開称」のモデルになったといわれる中国古銭「開元通宝」も含まれる。



（令和３年 10 月撮影）

○えんぶり烏帽子

同地方において「えんぶり」が演じられていたことを立証するものであり、なおかつ村内に現存する同種の烏帽子は当該物件だけである。

「鹿踊り」と書いて「シシコ」と呼ばれていた。岩手県から伝承されたと伝えられている。

（平成 30 年 9 月撮影）

○鹿頭

同地方において「鹿踊り」が演じられていたことを立証するものであり、なおかつ村内に現存する同種のものは当該物件だけである。

（平成 30 年 9 月撮影）

〇神楽面

同地方に現在も伝わる「田中獅子舞」の中に、かつてさまざまな演目が含まれていたことを立証する物件である。

田中獅子舞は、権現舞（上舞、下舞）・山の神舞・虎の口舞・番楽・盆舞・七ツ道具・とり舞の七種類であるという。

おかめ道化

ひょっとこ道化

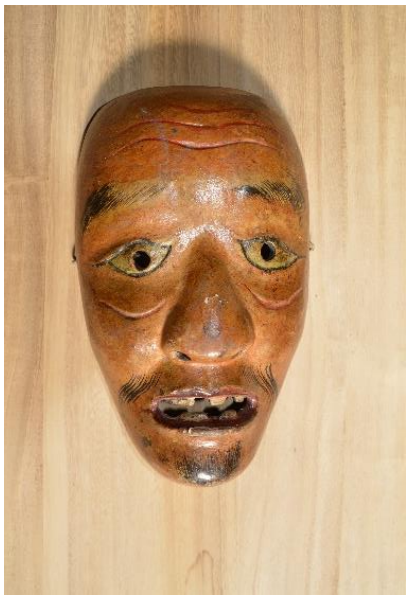
ひょっとこ道化

ひょっとこ道化

はんにゃ

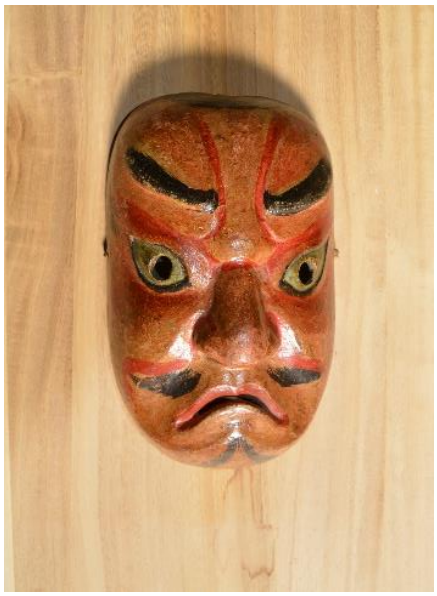
翁

三番叟



道化

山の神



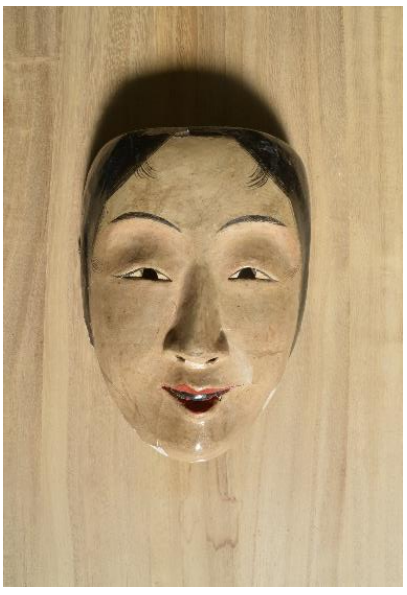
竜天普將荒神

竜天普將荒神

写真なし

竜天普將荒神

女面



女面

女面

（平成 30 年 9 月撮影）

○野沢温泉さわらの木

目通り２m80cm、根周り３m45cm で、樹齢 250 年以上と推測される巨木である。

（平成２６年７月撮影）

○神楽面

同地方に現在も伝わる「西越獅子舞」にかつてさまざまな演目が含まれていたことを立証する貴重な物件である。

西越獅子舞の演目には、権現舞・鶏舞・三番叟・剣舞・八串舞・山ノ神舞・虎の口・番楽・八幡舞等があるが、その他にも演目が沢山あって、演目の種類は 55 種類あるという。

竜天

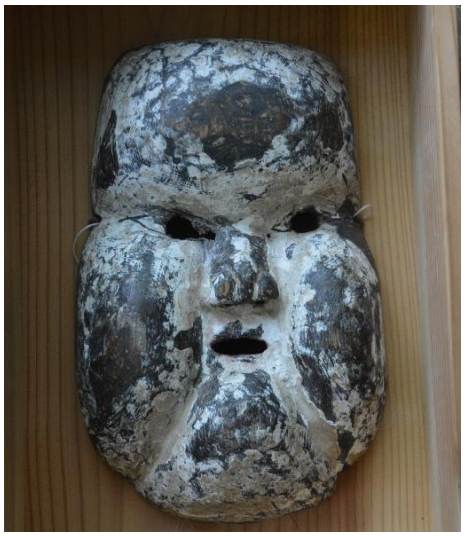
武士面

山の神

女面

女面

男面



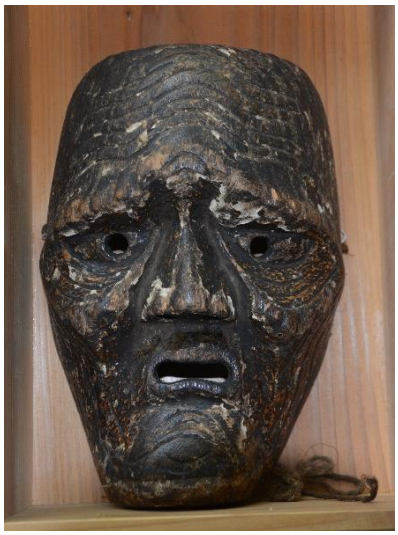
お多福

火男

火男

火男

般若



翁

三番叟

三番叟

（平成 30 年 9 月撮影）

○香の木

周辺に生い茂る新芽からの幹や枝を合わせた寸法は幹周約 12m、樹高約 25m で、かつて同部落にあったカツラの古木とともに“夫婦香の木”として、古くから住民に親しまれてきた貴重な樹木である。

（令和元年 10 月撮影）